

## 地域医療マネジメント概論

責任者・コーディネーター	臨床薬学講座地域医療薬学分野 高橋 寛 教授		
担当講座・学科(分野)	地域医療薬学分野、医学部緩和医療学科、歯学部歯科補綴学講座有床義歯・口腔リハビリテーション学分野		
対象学年	6	区分・時間数	講義 16.5 時間
期 間	前期		
単位数	1 単位		

### ・学修方針（講義概要等）

医療や社会状況の変化により、薬剤師に求められる役割や業務内容が変化してきている。高齢者では通院困難患者に対する在宅医療サービス、ポリファーマシー対策、さらには災害医療や新興感染症（コロナ感染）への対応などがある。また、国民が住み慣れた地域で継続的に医療や介護が受けられることは生活の質（QOL）を考える上で重要であり、薬剤師は医療と介護及び福祉が一体的に提供される地域包括ケアシステムに参画する必要がある。在宅医療はその形の一つであり、地域において医療や介護等の専門職と連携する必要がある。在宅医療で多職種と連携するためには、医師をはじめ多職種の役割を学び、患者ニーズの把握と患者アセスメントなどを多職種と情報共有することが重要である。その上で患者の立場にたつて薬物治療を見直す必要がある。在宅医療や地域医療に関係する多職種が患者さんとどう向き合っているかを学修する。5年次に履修した病院・薬局実務実習の学修内容を基礎とする。地域包括ケアシステムの中で多職種と連携を取る際のマネジメント能力の基盤となる。また、将来の多職種連携（Interprofessional Work：IPW）の基盤となる。

### ・教育成果（アウトカム）

地域包括ケアシステムの中で薬剤師として役割を果たすために国が進める政策や社会のニーズ、あるべき医療提供体制を理解し、在宅医療に関連する多職種の役割や災害時におけるかかりつけ薬剤師の役割を学ぶことで、地域住民の生活を重視した医療や介護サービスの提供や在宅医療における多職種連携に貢献できるようになる。  
(ディプロマ・ポリシー:1,4,5,6,9)

### ・到達目標（SBO）

1. 日本における社会保障制度の問題点を説明できる。(☆)(52,53,111)
2. 医薬分業において社会が求める薬剤師の役割について説明できる。(☆)(1,2,3,8,13,16,107)
3. 地域包括ケアシステムにおける薬剤師・薬局の役割を説明できる。(☆)(8,112,113,115)
4. 日本と米国の薬剤師業務の違いについて説明できる。(☆)
5. 在宅医療と入院医療との違いを説明できる。(☆)
6. 在宅医療を支える医師の役割を説明できる。(☆)(45)
7. 在宅医療における薬剤師の役割を説明できる。(☆)(37,45,47,48,49,51,54,71,113)
8. 在宅医療における服薬管理の問題点を列挙できる。(☆)
9. 在宅医療における訪問看護師の役割を説明できる。(☆)(37,45,47,49,54,55)
10. 在宅医療チームへの関わりと訪問看護の実際の業務について説明できる。(☆)(56)
11. 在宅医療における管理栄養士の役割を説明できる。(☆)
12. 高齢者における栄養摂取の重要性について説明できる。(☆)
13. 在宅医療における歯科医師の役割を説明できる。(☆)

14. 嚥下機能障害と嚥下機能アセスメントについて説明ができる。(☆)
15. 緩和ケアの基本的概念、定義を説明できる。(☆)(34)
16. 緩和ケアを提供する際の薬剤師の役割について説明できる。(☆)(7,45,46,47,49)
17. 人が亡くなった後の寺院や住職の役割を説明できる。(☆)
18. 人が死を迎える際、人としての関わり方を共感する。(知識・態度)(☆)(5)
19. 災害医療における薬剤師の役割について説明できる。(☆)(1,2,3,109,110)
20. 地域医療におけるかかりつけ薬剤師の役割について説明できる。(☆)(1,2,13,50,51,106,108,109)
21. 終末期医療のあり方について自分の意見を述べる。(知識・態度)(☆)(4,5,29)
22. 地域から求められる医療提供施設、福祉施設及び行政との連携について討議する(116)。(知識・態度)

・ 講義日程

(矢) 西 2-A 講義室

月日	曜日	時限	講座・分野	担当教員	講義内容/到達目標
4/9	火	4	地域医療薬学分野	高橋 寛 教授	<p>「導入講義」</p> <p>地域包括ケアシステムと薬剤師の役割</p> <p>1. 地域包括ケアシステムにおける薬剤師・薬局の役割を説明できる。(☆)</p> <p>2. 地域から求められる医療提供施設、福祉施設及び行政との連携について討議する。</p> <p>3. 終末期医療のあり方について自分の意見を述べる。(☆)</p> <p>【双方向授業】【ICT(moodle)】</p> <p>事前学修：moodle 上に終末期医療に関するアンケート (Google フォーム) (1 回目) を提示しますので、それに回答してください。また、地域包括支援センターの役割とケアマネージャーの役割について調べておいてください。所要時間 30 分以上。</p> <p>事後学修：授業で学んだ内容の中で薬剤師に何が求められているかをまとめておいてください。</p>
4/12	金	4	地域医療薬学分野	紀平 哲也 非常勤講師	<p>医療における 2025 年問題と社会保障制度</p> <p>1. 日本における社会保障制度の問題点を説明できる。(☆)</p> <p>2. 医薬分業において社会が求める薬剤師の役割について説明できる。(☆)</p> <p>【双方向授業】【ICT(moodle)】</p> <p>事前学修：moodle 上に薬局や薬剤師の役割に関する課題 (Google フォーム) を提示しますので、それに回答してください。所要時間 30 分以上。</p> <p>事後学修：授業で学んだ内容の中で薬剤師に何が求められているかをまとめておいてください。</p>

4/15	月	3	地域医療薬学分野	松浦 誠 特任教授	<p>米国の医療システムと臨床薬剤師業務について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.米国の医療システムについて概説できる。(☆)</li> <li>2. 日本と米国の薬剤師業務の違いについて説明できる。(☆)</li> </ol> <p>【双方向授業】【ICT(moodle)】  事前学修： moodle 上に資料を提示するので読んでおくこと。  事後学修： 授業で学んだ内容をまとめておいてください。</p>
4/19	金	4	地域医療薬学分野	岩井 正勝 非常勤講師	<p>在宅医療：医師としての役割と診療の実際</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 在宅医療と入院医療との違いを説明できる。(☆)</li> <li>2. 在宅医療を支える医師の役割を説明できる。(☆)</li> </ol> <p>【双方向授業】【ICT(moodle)】  事前学修： moodle 上に在宅医療に関する課題（Google フォーム）を提示しますので、それに回答してください。所要時間 30 分以上。  事後学修： 授業で学んだ内容の中で医師がどんなことを大切にしていたかまとめておいてください。</p>
4/22	月	4	地域医療薬学分野	長井 貴之 非常勤講師	<p>在宅医療：薬剤師としての役割と服薬支援</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 在宅医療における薬剤師の役割を説明できる。(☆)</li> <li>2. 在宅医療における服薬管理の問題点を挙げる。(☆)</li> </ol> <p>【双方向授業】【ICT(moodle)】  事前学修： moodle 上に在宅医療における薬物治療の課題（Google フォーム）を提示しますので、それに回答してください。所要時間 30 分以上。  事後学修： 授業で学んだ内容の中で薬剤師がどんなことを大切にしていたかまとめておいてください。</p>
4/26	金	4	高度看護研修センター	長澤 昌子 主任教員	<p>在宅医療：看護師としての役割と生活支援</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 在宅医療における訪問看護師の役割を説明できる。(☆)</li> <li>2. 在宅医療チームへの関わりと訪問看護の実際の業務について説明できる。(☆)</li> </ol> <p>【双方向授業】【ICT(moodle)】  事前学修： moodle 上に薬剤師と訪問看護師の関わり方に関する課題（Google</p>

					<p>フォーム)を提示しますので、それに回答してください。所要時間30分以上。</p> <p>事後学修：授業で学んだ内容の中で看護師がどんなことを大切にしていたかまとめておいてください。</p>
5/2	木	3	地域医療薬学分野	伊藤 美穂子 非常勤講師	<p>在宅医療：管理栄養士としての役割と栄養支援</p> <p>1. 在宅医療における管理栄養士の役割を説明できる。(☆)</p> <p>2. 高齢者における栄養摂取の重要性について説明できる。(☆)</p> <p>【双方向授業】【ICT(moodle)】</p> <p>事前学修：moodle上に薬物が誘発する栄養障害について課題(Googleフォーム)を提示しますので、それに回答してください。所要時間30分以上。</p> <p>事後学修：授業で学んだ内容の中で管理栄養士がどんなことを大切にしていたかまとめておいてください。</p>
5/10	金	4	歯科補綴学講座 有床義歯・口腔 リハビリテーション 学分野	小林 琢也 教授	<p>在宅医療：訪問歯科医としての役割と歯科診療の実際</p> <p>1. 在宅医療における歯科医師の役割を説明できる。(☆)</p> <p>2. 嚥下機能障害と嚥下機能アセスメントについて説明ができる。(☆)</p> <p>【双方向授業】【ICT(moodle)】</p> <p>事前学修：moodle上に歯科領域に影響を与える薬物の課題(Googleフォーム)を提示しますので、それに回答してください。所要時間30分以上。</p> <p>事後学修：授業で学んだ内容の中で歯科医師がどんなことを大切にしていたかまとめておいてください。1回目の課題を出しますので、期日(5/20)までに提出してください。</p>
5/20	月	2	地域医療薬学分野	湊谷 寿邦 非常勤講師	<p>災害医療における薬剤師の役割と活動内容(東日本大震災を通して)</p> <p>1. 災害医療における薬剤師の役割について説明できる。(☆)</p> <p>2. 地域医療におけるかかりつけ薬剤師の役割について説明できる。(☆)</p> <p>【双方向授業】【ICT(moodle)】</p> <p>事前学修：moodle上に地球温暖化と環境問題について課題(Googleフォーム)を提示しますので、それに回答してください。所要時間30分以上。</p>

					<p>事前に moodle 上に資料を提示しますので、それを読んで質問に回答してください。</p> <p>事後学修：授業で学んだ災害時に、または平時に薬剤師がどんなことを大切にしていたかまとめておいてください。</p>
5/24	金	1	緩和医療学科	木村 祐輔 特任教授	<p>緩和医療：緩和ケアについて 緩和ケアの概念と患者さんに対する心構え</p> <p>1. 緩和ケアの基本的概念、定義を説明できる。(☆)</p> <p>2. 緩和ケアを提供する際の薬剤師の役割について説明できる。(☆)</p> <p>【双方向授業】【ICT(moodle)】</p> <p>事前学修：moodle 上に緩和医療に関する課題 (Google フォーム) を提示しますので、それに回答してください。所要時間 30 分以上。</p> <p>事後学修：授業で学んだ緩和ケアの中で何を大切にしていたかまとめておいてください。</p>
5/27	月	3	地域医療薬学分野	森田 英仁 非常勤講師	<p>死を迎えることと住職の役割</p> <p>1. 人が亡くなった後の寺院や住職の役割を説明できる。(☆)</p> <p>2. 人が死を迎える際、人としての関わり方を共感する。(☆)</p> <p>【双方向授業】【ICT(moodle)】</p> <p>事前学修：moodle 上に死生観に関する課題 (Google フォーム) を提示しますので、それに回答してください。所要時間 30 分以上。</p> <p>事後学修：授業で学んだ内容の中で住職がどんなことを大切にしていたかまとめておいてください。</p> <p>また、moodle 上に終末期医療に関するアンケート (Google フォーム) (2 回目) を提示しますので、それに回答してください。2 回目の課題を出しますので、期日(6/3)までに提出してください。</p>

・教科書・参考書等 (教：教科書 参：参考書 推：推薦図書)

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	死を前にした人にあなたは何かができますか？	小澤竹俊	医学書院	2017

参	悪医（朝日文庫）	久坂部羊	朝日新聞出版	2017
参	看取るあなたへ	細谷亮太、徳永進、 長尾和宏（著）	河出書房新社	2017
参	終末期医療を考えるために： 検証オランダの安楽死から	盛永審一郎（著）	丸善出版	2016
参	まるごと凶解 摂食嚥下ケア	青山寿昭（編）	照林社	2017

・成績評価方法

10回のアンケート提出(20%)とレポート提出2回（1回目(5/20ㄨ切り）(50%)、2回目（6/3ㄨ切り）(30%)）を行い、ループリック評価表に基づき評価を行う）の合計で総合的に評価を行う。

・特記事項・その他

事前学修・事後学修のポイント

事前学修については、事前に moodle 上に資料を提示しますので、それを読んで質問に回答してください。毎回 30 分程度要します。

事後学修については、授業で学んだ内容をまとめ、特にそれぞれの職種がどんなことを大切にしているかを中心にもとめるようにしてください。毎回 60 分程度要します。定期試験は行いませんが、2回の課題レポート作成のために、それぞれ5時間、3時間程度の総復習の時間を確保する必要があります。レポートを2回作成し提出してください。

学生参加型講義を実施するために、スマートフォン等を利用して演習やクイズを講義中に行い、授業出欠確認の代わりにします。指示があった場合にはインターネットに接続できるように準備しておいてください。授業のわからなかったこと、要望を書くことができるようフォームを準備しています。

試験やレポート等の課題に対するフィードバック方法

課題に関しては、授業中に回答例の一部を紹介するなどフィードバックを行う。

提出されたレポートは、採点后、コメントを付けて、直接もしくは moodle 経由にて返却する。

また、moodle に解説あるいはコメントをアップする。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	パソコン（Apple MacBook Air）	1	スライド投影のため
講義	パソコン（パナソニック CF-SV）	1	スライド投影のため
講義	パソコン(Microsoft Surface Laptop Model1769)	1	スライド投影のため